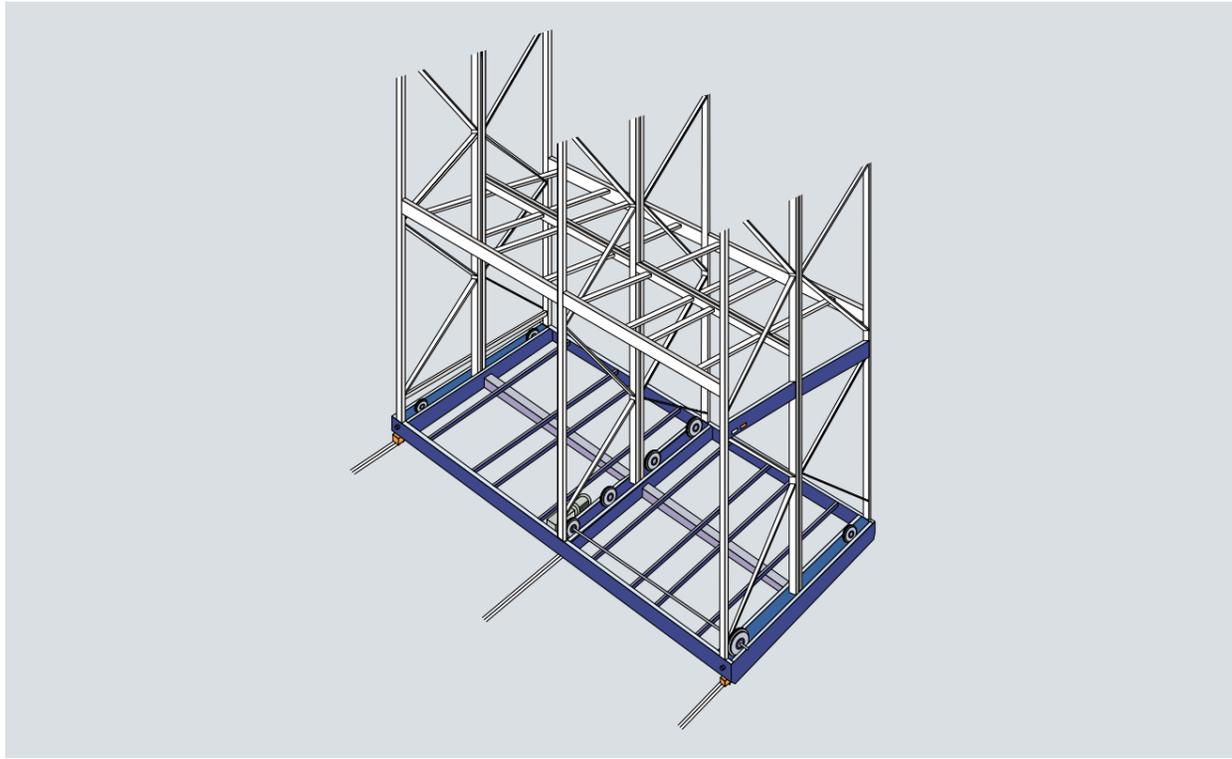


電動パレットラック

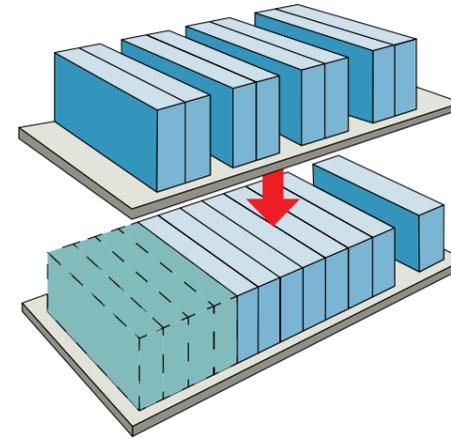
標準色

K1色



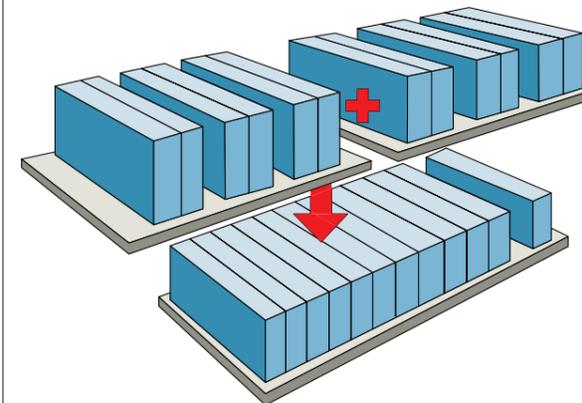
1 収容量を最大限に増やします。

従来の固定棚を使用する際に必要だった通路スペースを最小限にすることで、収容スペースを最大限に利用できます。電動パレットラックは、現状の倉庫の収容量を増改築なしに増やすことができる、手軽で経済的な方法です。



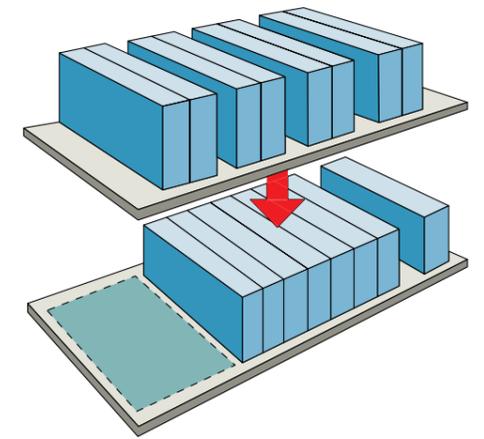
3 分散拠点を整理・統合し、集中管理・保管を可能とします。

保管量の増大によるスペース不足が原因で、ストック・ポイントが分散されている場合、電動パレットラックであれば、これらを整理・統合し、集中管理することができます。最も有利な拠点に集約することで、人員や設備の重複、配送の交錯など、様々なムダやロスが省け、コストの大幅な削減が図れます。



2 保管スペースの極小化により、作業環境を改善します。

一般に倉庫は、保管スペースに大部分をとられるため、作業スペースが狭く非効率になりがちです。電動パレットラックは、従来の固定棚方式に比べ、はるかに少ないスペースで同一量の保管が可能です。作業スペースを大幅に広げ、作業効率をグンと高めます。



4 先入れ・先出しが可能。多品種管理も容易です。

ラックの移動で、先入れ・先出しは自由自在。保管スペースの大幅な増大により、多品種のストックを整然と区分して保管できます。

5 トータルコストを大幅に削減します。

土地・建物・家賃などの費用を含めて比較すると、電動パレットラックの導入による設備のトータルコストは極めて少なくなります。そのうえ、出納能力と作業性の向上を実現するなど、多角的なメリットを生み出し、経費削減に大きく貢献します。

6 標準型・冷蔵庫型・防爆型の3タイプがあります。

標準型—通常温度範囲内で使用。

冷蔵庫型—冷蔵庫専用。冷凍食品・生鮮食品の密集保管に。

防爆型—危険度の高い引火性液体・可燃性ガス等を扱う場所に。